

■司 会／河野 明宏 大分県教育庁生涯学習課 生涯学習推進係長  
比嘉 清美 沖縄県西原町 社会教育委員

## 1 地域おこし学習ボランティアの10年

13:30～13:55

－市民の社会参画と生涯学習成果の社会還元－

安井 敬子（山口県宇部市） 宇部市ふるさとコンパニオンの会 会長

宇部市の人材養成講座を出発点として生涯学習ボランティア「宇部市ふるさとコンパニオンの会」を結成した。以来10年、男女共同参画を基本理念として、「生涯学習まちづくり、ふるさと講師になろう」を合い言葉に活動して来た。現在、会員28名である。主たる活動内容は小学校の総合的学習の支援、成人学級の講師、「市民文化パス」のツアーガイド、観光ボランティアガイドなどである。

## 2 高齢者の社会参加と世代間交流舞台の創造

13:55～14:20

－「子どもに学ぶパソコン教室」から「夏休み宿題サポート活動」まで－

森 一郎（福岡県直方市） 直鞍地区高齢者大学 コーディネーター

高齢者の活力は「生き甲斐」と日々の活動によって支えられる。高齢者の生涯学習をコーディネートする目標は高齢者の活動舞台を創造して、社会参加の実感と役割達成感が得られるプログラムを準備することである。「子どもに学ぶパソコン教室」は世代間交流と時代の最先端技術の学習の同時進行であり、同様に「宿題サポート活動」は世代間交流と役割達成による社会的承認を得る事を目指した活動である。

ティータイム

14:20～14:55

## 3 「多根尋常小学校：メダカの学級の挑戦」

14:55～15:20

－公立小学校による高齢者教育とコミュニティ活性化の試み－

石飛 安弘（島根県掛谷町） 多根尋常小学校 教頭

多根小学校は、「学校は地域の核であり、コミュニティづくりの場、住民の学習の場」という発想から、児童の学習と同時時間帯に、空き教室を活用した、主として高齢者のための「メダカの学級」を開設した。基本的に学校の地域貢献事業であり、組織も支援団体も存在しない。講師はすべて公立小学校の教職員である。パソコン教室や総合学習、また合同給食を通じた児童との交流も企画され、高齢者の活力源となっている。

## 4 住民の、住民による、住民のためのふるさとづくり

15:20～15:45

－自治公民館の生涯学習・地域活動への挑戦－

井塚 照雄（鳥取県会見町） 金田公民館 館長

平成6年、町の「モデル部落公民館指定事業」が出発点である。以来、「金田公民館運営要綱」を定め、館長、主事、運営委員の選出を行ない、住民主体の学習活動を進めて来た。学習課題は、郷土史、生活課題、環境保全などである。学習の過程から「ホテルの里づくり運動」が生まれ、町指定文化財「小松城跡」を活用した「小松城祭」を開催するようになり、町外からの来訪者も増えて交流の機会も拡大した。地域課題の掘り起こし学習が地域活力の向上に繋がったと評価を得ている。

## 5 総括討論

15:45～16:15

PM